

山形県立図書館活性化基本計画の概要

基本コンセプト

県民が集い・学ぶ

本のまち

新たな本との出会い
「ときめく」
図書館

気軽に相談
「たよれる」
図書館

ICTで幅広い情報と
「つながる」
図書館

人の輪が
「ひろがる」
図書館

具体的方策

1. 大規模改修の実施

- 図書館エリアの拡大（1・2階計 3,390 m² → 約 5,700 m²）
- 開架エリアの拡大（現在の開架冊数 178,000 冊 → 400,000 冊の開架可能へ）
- 閲覧席数の拡大（110 席 → 200 席以上）

<1階>

子どもや若者の利用を想定したエリアを多く配置し、BGMの導入など、気軽に訪れることができる空間とする。

- 子ども用エリア（授乳室）
- ティーンズエリア
- 新聞・雑誌エリア
- デッキエリア
- カフェエリア
- アクティブラーニングエリア
- 総合カウンター及びコンシェルジュカウンター

<2階>

静かに読書や学習ができるエリアとし、1階に比べ静寂な空間とする。

- サイレントルーム
- パソコン席
- 吹き抜け周辺カウンター

<その他>

- 利便性のよい駐車場の整備

2. ICT活用の充実

- 郷土資料等のデジタル化と公開
- 市町村図書館・図書室とのネットワーク構築と連携強化
- Wi-Fi 環境の導入
- ポータブル型の貸出処理端末機器の導入検討
- デジタル書籍閲覧システム（web図書館）の導入検討

3. 管理運営の充実

- 図書資料の充実
- 調査相談能力の向上と情報発信
司書の働く場の創出と安定的配置の検討・研修の充実・調査相談サービスのPR等
- 市町村図書館・図書室と学校図書館への支援の充実
- 幅広い県民に利用しやすい開館日・開館時間の設定
- 多様な主体と連携した販わいを創出する仕組みづくり
 - ・ 近隣商店街、大学コンソーシアムやまがた、読み聞かせ・子育て団体等との連携
 - ・ 地元製品の展示・即売、講演会の開催、産直市の開催等
 - ・ 書籍、雑貨等の常設の物販検討